

第3期（2023年10月～2024年3月）

事業報告書

〔第3期〕

自 2023年（令和5年）10月1日

至 2024年（令和6年）3月31日

一般財団法人 西表財団

1) 目的達成に向けた事業

(1) 受託事業

① 自然環境の保全・管理

西表島及び周辺海域の自然環境の保全・管理に資する以下の事業を実施した。

1. 外来種等の防除ならびに普及啓発に関する業務

① 西表島におけるツルヒヨドリ等防除業務（環境省）

白浜地区、高那地区、祖納地区において、特定外来生物ツルヒヨドリ、ポタンウキクサの防除作業ならびにドローンによるツルヒヨドリの生育状況調査を行った。

② 八重山地域における外来カエル類拡散防止対策検討業務（環境省）

西表島における外来カエル類（オオヒキガエル、シロアゴガエル）の監視モニタリング調査、石垣島の港湾周辺地域における外来カエル類の監視モニタリング及び捕獲調査、検討委員会を開催した。また、公共工事関係者に対し、資機材運搬時の点検マニュアル説明会を行った。

③ 西表石垣国立公園ノヤギモニタリング調査業務（環境省）

古見岳を中心とした山地部におけるノヤギの生育状況調査、調査実施にあたっての自動撮影カメラによる定点モニタリング候補地点の抽出等を行った。

2. 密猟・盗掘防止のためのパトロール業務

① 西表石垣国立公園（西表地域）希少種等パトロール業務（環境省）

主に希少昆虫類の密猟防止を目的とした夜間パトロールを、地元調査員、関係行政機関と連携して実施した。

3. 国立公園内登山道の維持管理・モニタリング業務

① 西表石垣国立公園ユツン古見岳線歩道維持管理業務（環境省）

ユツン古見岳線歩道において、歩道が適正に利用できるよう、定期的な巡視ならびに維持管理作業を実施した。また、利用影響の把握を目的とした定点モニタリング調査を実施した。

② 西表石垣国立公園浦内川船浦線歩道（テドウ山）維持管理業務（環境省）

浦内川船浦線歩道（テドウ山）において、歩道が適正に利用できるよう、定期的な巡視ならびに維持管理作業を実施した。また、利用影響の把握を目的とした定点モニタリング調査を実施した。

4. 西表野生生物保護センターの普及啓発強化支援業務

① 西表野生生物保護センターの普及啓発強化支援業務（プレック・沖縄県）

西表野生生物保護センターにおいて普及啓発の強化を目的として解説案内業務を実施した。

5. イリオモテヤマネコ等希少野生生物の保護ならびに普及啓発に関する業務

① 西表島海岸部アンダーパス鬱閉対策ビーチクリーン企画実施業務（竹富町）

ホネラ海岸のアンダーパスの機能保全と周辺環境の保全を目的としたビーチクリーンイベントの企画・運営を行った。

② 「イリオモテヤマネコの日」企画・広報業務（竹富町）

イリオモテヤマネコの日イベント（R6年4月14日・16日開催）の企画・広報を行った。

② 適正な観光管理の実現

西表島及び周辺海域の適正な観光管理の実現に資する以下の事業を実施した。

1. 竹富町観光案内人条例の運用に関する業務

① 竹富町観光案内人条例運用支援業務（竹富町）

竹富町観光案内人条例の運用において、観光案内人を対象とした講習会の企画・開催、竹富町観光案内人条例等審議会の運営補助、観光案内人申請等受付業務の支援等を行った。

2. 西表島エコツーリズム推進全体構想の運用や推進協議会の運用に関する業務

① 西表島登録引率ガイド制度構築支援業務（プレック・竹富町）

西表島エコツーリズム推進全体構想における特定自然観光資源の立入承認制度運用開始に向けた登録引率ガイドの研修及び試験実施の支援を行った。

3. サステナブルな自然体験活動の促進に関する業務

① 西表島における自然体験活動促進計画策定支援業務（竹富町）

自然体験活動促進計画策定に向けた海域溪流ブイの利用ルール検討ならびに野営ツアーのルール検討に際して、ワーキンググループの開催支援や映像コンテンツの製作補助を行った。

4. 観光利用による自然環境等への影響把握のための調査業務

① 観光利用による自然環境への影響モニタリング調査業務（竹富町）

観光案内人を活用したモニタリングシステムの構築、海域自然観光資源におけるサンゴ群集モニタリング手法の検討及び運用、夜間利用に関するモニタリング体制の検討等を行った。

5. 自然体験フィールドの適正利用推進に関する業務

① 西表石垣国立公園ヒナイ地区利用者負担検討業務（環境省）

ヒナイ地区における携帯トイレ運用方針のとりまとめ、連絡会議の開催支援、利用者に向けた周知広報等を行った。

6. 持続可能な観光のための認証制度検討に関する業務

① 世界自然遺産地域エコ認証制度構築支援業務（プレック・沖縄県）

西表島におけるエコ認証制度の構築を目的としたアンケート調査、検討会議の開催支援、意見交換会の開催支援等を行った。

③ 教育及び普及啓発

西表島の自然や社会に関する教育及び普及啓発に資する以下の事業を実施した。

① 西表島自然環境教育カリキュラム改訂版の見直し（林野庁）

「西表島での自然環境教育カリキュラム改訂版」掲載のプログラムの実施状況調査やヒアリング等を行い、再改訂に向けた見直し作業を行った。

(2) 自主事業

① 理事提案による自主事業

第1期に理事会で選定された以下の自主事業を実施した。

1. アクセスが船に限られた地域でのビーチクリーン事業

「西表島の手つかずの海洋ゴミ回収プロジェクト」（日本財団海と日本プロジェクト助成）

外離島・シラス浜ビーチクリーンの企画・運営、海中・海底ゴミの回収を行った。また一連の活動の報告イベントを開催した。

2. 宿泊施設によるマイボトルのレンタルシステムの構築

（竹富町がんばる地域応援プロジェクト助成）

マイボトルのデザイン・製作と、宿泊施設でのレンタル開始に向けた広報媒体の作成等を行った。

3. 西表島の自然デジタルアーカイブ事業

デジタルデータの蓄積を行った。

4. 暮らしの周りの環境美化推進事業

5. 西表島フォトコンテストの開催とカレンダーの制作

西表島フォトコンテストの開催ならびにカレンダーの製作、写真展の開催を実施した。

② その他の自主事業

1. 島内小中学生の海洋教育、文化学習等の支援

- ① 国際交流基金助成「Okinawa & New York Youth for Global Plastic Pollution Action」プログラム

上原小学校・古見小学校とニューヨークの小学生の交流の支援、漂着ごみやプラスチックごみ問題に関する授業の実施や、発信のための映像制作を支援した。

- ② 大原小（ビーチクリーン事前学習、漂着ゴミに関する事業）
- ③ 大原小（わらべうた）
- ④ 白浜小（ビーチクリーン事前学習）

2. 講習・研修等の企画・コーディネート業務

- ① JICA 研修（持続可能な観光資源管理・開発（自然資源））
- ② JICA 研修（地域住民の参加による持続的な森林管理）
- ③ 沖縄県地域通訳ガイド研修
- ④ 対日理解促進交流プログラム・MIRAI オンライン交流プログラム
- ⑤ 沖縄県ヤマネコの交通事故対策検討事業(モデルツアー)コーディネート業務

3. 西表エコプロジェクト事務局運営

西表エコプロジェクトの事務局として、総務・会計業務を担った。また、上原港テナントスペースの管理やリニューアル検討を行った。

4. アドバイザー業務

河川の魚類モニタリング調査において、アドバイザーとして業務を支援した。

5. 島内に向けた環境教育等の普及啓発事業

- ① 西表島における外来カエル類の侵入防止対策普及啓発（沖縄県補助金）
地域住民を対象としたカエルの観察会の企画・運営を行った。

6. 島内の各種課題に対する行政機関への提言・要請

7. ダイキン空気を育む森プロジェクト

2024年度のプロジェクト開始に向けた事業計画の策定、三者協定締結準備、プロジェクト報告会での事業計画の発表を行った。

8. ヒアリング対応

RESTEC、OCVB、スペインジャーナリスト、笹川平和財団、気仙沼市教育委員会、国頭村役場、NACSJ、ゴールドウィン、JANUS、JTBF、スマートソサエティファウンデーション、富山大学、金沢大学、神奈川大学

(3) その他の事業

① 関連会議等への出席

目的達成に向けた事業に関連する以下の会議等に参加した。

日	会議名
2023/12/14	アジサシシンポジウム
2023/12/22 2024/2/16	石西礁湖自然再生協議会 (適正利用・普及啓発部会)
2023/11/27 2024/1/29	竹富町西表島エコツーリズム推進協議会
2023/12/27 2024/3/13	西表島の持続可能な観光のための認証制度検討会
2024/1/23	令和5年度西表島におけるノヤギ対策連絡会議
2024/2/2	崎山湾・網取湾自然環境保全地域等ウミシヨウブ藻場保全に関する連絡会議
2024/2/13	西表島部会
2024/2/14	イリオモテヤマネコ交通事故防止連絡会議
2024/2/14	サステナブルツーリズム WS
2024/2/18	県海岸漂着ごみ地域交流ワークショップ
2024/3/2	海岸漂着ごみ発生抑制県民ワークショップ
2024/3/22	沖縄県海岸漂着物の発生抑制対策ワーキンググループ

2) 財団運營業務

(1) 理事会・評議員会の開催

3回の理事会（内1回は決議の省略）と1回の評議員会を開催した。

(2) 能力・体制の強化

① 職員体制

今期は、第2期からの職員体制を維持すると同時に、地域おこし協力隊の採用準備、財団正職員の募集を行った。

② キャパシティビルディング・勉強会

(3) 外部への発信と支援体制の確立

① イメージ戦略の検討・構築

② 賛助会員・寄付金等の募集と運用

③一般向け・地域向け情報発信

- ・ホームページによる発信とリニューアルに向けた検討を行った。
- ・SNS（Facebook、インスタグラム）による積極的な活動の発信を行った。